様式１

実 践 報 告 資 料

研究テーマ『自他を大切にする気持ちを育て、いじめを生まない土壌を築く』
～自己肯定感を育む指導の充実と、違いを認め合える人権意識の育成～

研 究 内 容【 (1)、(2)、(3)、(4) 】※重点的に取り組む内容に〇を入れる。

学校名（川西市立けやき坂小学校）

ア　人権教育としてのねらい

＜低学年＞

一人ひとりが自分の願いを持ち、その願いを伝えようとする態度を育てる。

＜中学年＞

相手の願いに気づき、お互いの願いを実現しようとする態度を育てる。

＜高学年＞

一人ひとりの願いをみんなの願いとし、差別を許さない態度を育てる。

イ　研究の概要

児童の実態に基づき、学級集団や学年集団の「なかまづくり」を中心に、児童の人権意識を育むための有効な方策を検討、実施する。方策は各教科、道徳、特別活動、総合的な学習の時間の４領域から行う。

また、定期的に児童の様子を交流し、職員間での共通理解を図る。関わり方や支援、取り組みの方法について助言し合う。

さらに、学校が「人権を大事にしよう」と取り組んでいることを、人権参観・懇談、学校・学年便り、学校ホームページ等を使って保護者や地域に発信していくことで、家庭や地域との連携強化を進めていく。

領域	教　科（国語）	道　徳	特別活動	総合的な学習の時間
指導者	推進教員	２年担任 推進教員	外部講師 ３年担任 推進教員	推進教員
実施日	11 月 24 日	11 月 25 日	９月 29 日	７月 21 日
取組名	漢字の筆使い② はねと点「小」	あいてのことを考えて	ゆるスポーツ体験	ＳＮＳ利用上の注意点
目　標	（国語） 筆圧の強弱と筆使いに気をつけて、はねと点を書く。 （人権） 「ほほえみ」の人権推進項目（４－（１）－ア）学習者の権利と責任の重視 学習者の興味・関心を引き出す。	（道徳） 困っている子を描いた２つの場面を通して、相手の気持ちに寄り添った言葉かけや行動の大切さに気付き、相手のことを考え、優しく接しようとする判断力を育てる。 （人権） 「ほほえみ」の人権推進項目（３－（２）	・より多くの人が参加しやすいスポーツの良さを知り、仲間と関わり合いながら楽しむことができる。 ・ゆるスポーツの持つ良さや意義を考え、ワークショップでの対話や協働作業を通して、新たなスポーツを創造することができる。 ・自分から進んでスポーツ・運動に関わろうとする態度を持つこと	・ＳＮＳ利用時に陥りがちな失敗例を見ることで、気を付けるべきポイントを知る。 ・ＳＮＳの利用にはルールやマナーがあることを知る。 ・インターネットの利用においても、現実社会と同様に人を傷つけてはいけないということに気づく。

		ーア）人間関係の活性化 人権尊重の理念に基づいて、人と人とが豊かに共生していくために必要な資質や技能の育成を図る。表情や行動から相手の思いを推測し、相手の気持ちに寄り添った言葉かけや行動を考える力を養う。	ができる。	
資料名	出典『小学書写』 （日本文教出版）	「こんなとき　どうするかな」 出典『小学校道徳２年』 （光村図書） ・ワークシート１枚	・授業プラン ・ワークシート１枚	・ワークシート１枚
指導内容や指導方法の工夫等	導入（５分） 「小」の練習をする。 展開（25 分） 練習と手本を比べる。 ◇筆を立てること、ゆっくりと送筆するように声をかける。 教科書に書かれていることを確認する。 ◇以下の点について確認する。 ・はらいと点の区別 ・たて画が紙面の中心を通る ◇教科書で朱色の部分をほ先が通ることを確認する。 ◇ほ先の通り道を確認しながらなぞるように声かけをする。 ◇途中で点の練習をさせる。 ◇児童が書いた作品を使って指導する。 展開（20 分）	導入（５分） これまでの学校生活で、困っている子を見たことがあるかを思い出す。 展開前段（20 分） 場面１（砂のお城がこわれた）を掲示し、誰が困っているのかを考える。 自分がお城を壊された「みんな」の一人として、「こうきくん」のことをどう思うか、自分ならどのような行動をとるのか考える。 展開後段（13 分） 場面２の絵（一人で暗い表情をする女の子がいる）を掲示し、女の子がどんなことで困っているか考え、どうすればよいか考えさせる。 終末（7分） 板書で授業を振り返り、困っている子が	※詳細は指導プラン参照 １．レクチャー （６分） ころがしドッチグループの説明を聞く ２．ゆるスポーツ体験（ころがしドッチ） （12 分） ３．話し合いタイム （10 分） グループで振り返り　チームで話し合い　負けたチームは自分たちの有利になるようルールを変える。 ３．ゆるスポーツ体験（改良版ころがしドッチ） （12 分） ４．全体振り返り感想をシェアする （５分）	ＳＮＳを知らない子が取り残されない授業とするため、「ＳＮＳとは」から始める学習とする。 １．ＳＮＳとは ＳＮＳを利用してできることを知る。多くのサービス利用において年齢制限があることを伝える。 ２．動画「ネット上での悪口被害」を見て ３．動画「動画投稿をきっかけとした個人情報流出」を見て ４．今日の授業の感想 ５．先生への質問 ※４までが１時間扱い （推進教員より） ・ＳＮＳの便利なところばかりに注目して利用を始めるよりも、被害例を利用前に見ておき、勉強しておくほうがよい場合も多いと考える。利用者側に知識がないと、インターネ

	まとめ書きをする。 ◇声を出さずに取り組むようにさせる。 終末（５分） 学習をふりかえる。 ◇本時の学習をふりかえる。本時で学習した内容を鉛筆書きでも試してほしい旨を伝える。	いた時、どうするのか、なぜそうするのかを考えてワークシートにまとめる。	※兵庫教育大学との特別支援教育の推進にかかわる連携協力校研究授業実践内より提供	ットを介した被害者にも加害者にも簡単になってしまうということに気づくことができる。 ・授業後に、「ＳＮＳをこれから使わない」となるのではなく、正しく知識を身につけて使うことで、人を傷つけたり事件に巻き込まれたりせず、ＳＮＳを使いこなしてほしいというメッセージを伝えた。